

# 令和5年度 学校評価アンケート集計結果まとめ

1 回答者数	生徒	756名	(回収率 74.9	R4:50.9	R3:66.0)
	保護者	376名	(回収率 50.1	R4:62.3	R3:63.5)
	教職員	68名	(回収率 84.0	R4:68.8	R3:72.0)

※アンケートは GoogleForm 活用

2 実施時期 令和5年12月13日(水) ~ 令和5年12月25日(月)

## 3 集計結果の概要

アンケートは、A(そう思う)、B(大体そう思う)、C(あまりそう思わない)、D(思わない)、E(わからない)と回答していただき、各項目のA~Eの割合を算出しました。そして算出結果のAとBの合計が、おおむね「85%以上」と「70%以下」の設問及び前年比±5%の項目を顕著なものとして分析しました。

### (1) 生徒アンケートから

全ての項目で評価は70%超、半数の項目で評価が85%超でした。本校生は、身だしなみや挨拶、ルール順守など生活態度を意識している生徒が多いと思われます。また、「そう思う」の割合が最も高かったのは「この学校に入学してよかった」でした。満足感を持って高校生活を送っていると考えられます。学習面では「先生は一人ひとりが理解できるよう教え方を工夫している」という回答が最も上昇しました。

### (2) 保護者アンケートから

本校の教育目標や経営方針についてご理解をいただきました。また、家庭と学校の情報交流についてはさくら連絡網等の活用により学校の情報発信に一定の評価と理解を得られたと考えられます。学級PTA活動等がコロナ禍前に戻り、情報交換や親睦を深める機会が増えたことにより、保護者とのコミュニケーションに対する評価は前年に比べ伸びました。一方、教員の生徒への関わり方や指導に関する項目が低い結果となりました。

### (3) 職員アンケートから

本校の教育目標や生徒・保護者、地域の要望が、分掌や教科の目標及び計画に反映され、指導や教育活動が適切に行われていると認識しています。また、生徒と積極的に向き合い、感染対策や熱中症対策を講じ、生徒の健康や安全・安心に関する情報共有や連携が図られています。資格取得の学習や外部とのコラボなど各種教育活動での積極的な取り組みも見られます。一方、家庭学習習慣定着に課題を感じている割合が高くなっています。

## 4 次年度に向けた課題と改善策

今年度は体育祭、学校祭、インターンシップ、修学旅行、1年次と2年次のウィンタースポーツ教室を実施することができました。新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後の教育活動については、単にコロナ禍以前の姿に戻るのではなく、これまで制限されてきた活動を回復させるとともに、GIGAスクール構想の下で生み出された多様な教育実践の工夫を取り入れながら、デジタル技術を活用した学びと体験活動の充実を図り、生徒や保護者、地域の期待や要望に応えられるように学校運営に取り組んでまいります。

### (1) カリキュラムマネジメントの確立に向けて

個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、学習ツールやICTの効果的活用と丁寧な指導体制を両輪として進め、生徒に寄り添った指導、学習活動・機会の充実を図っていきます。また、各教科等において主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善及び指導と評価の一体化に取り組み、さらに、校外の研修に積極的に参加し教員の指導力向上に取り組んでまいります。

### (2) 生徒理解と生徒支援について

引き続き、悩み相談や進路相談等では、生徒の気持ちに寄り添い、積極的にコミュニケーションを取ることを心掛け、生徒の個性や特性を理解し、その特性に合わせた指導とともに、問題行動の未然防止と早期発見・早期対応に努め、教育相談や生徒支援の体制を充実させていきます。今後も生徒の自己有用感を高める質の高い生徒支援を行っていきます。

### (3) PTA活動の活性化について

年次や学級のPTA活動に加え専門部の各種事業の計画と運営、また、学校行事など生徒活動のために大変活発な支援をいただいております。このPTA活動を生徒の健全育成や学校の環境整備のみならず、保護者の皆様や教職員との情報交換や交流を深める場となるよう工夫を重ねてまいります。

## 5 おわりに

学校評価は、学校経営の重要な目安となるものです。皆様からのご意見一つひとつを真摯に受けとめ、学校経営のさらなる改善に努めてまいります。

今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。